

<就職先企業アンケート調査 実施概要>

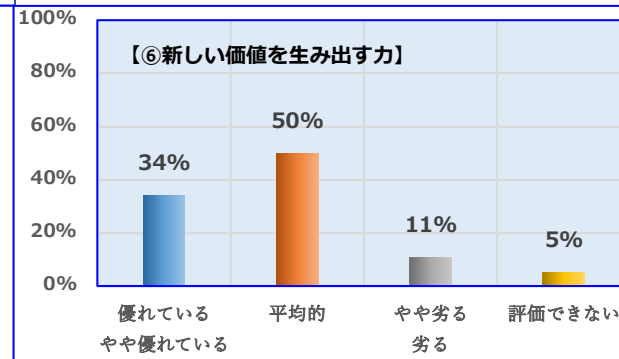
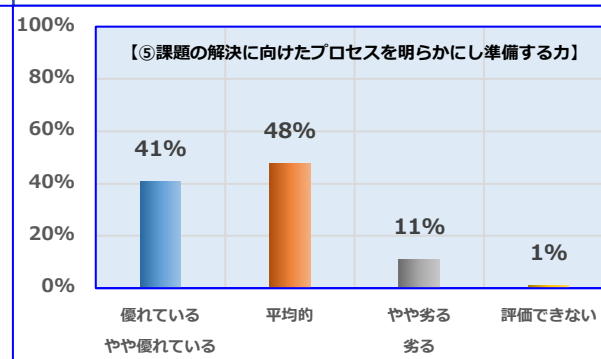
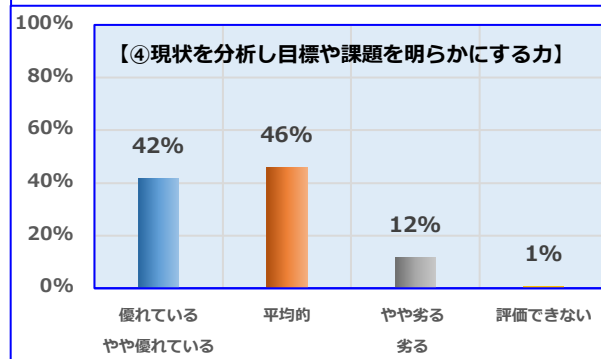
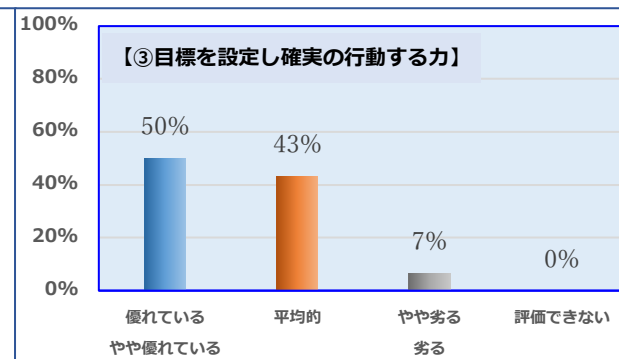
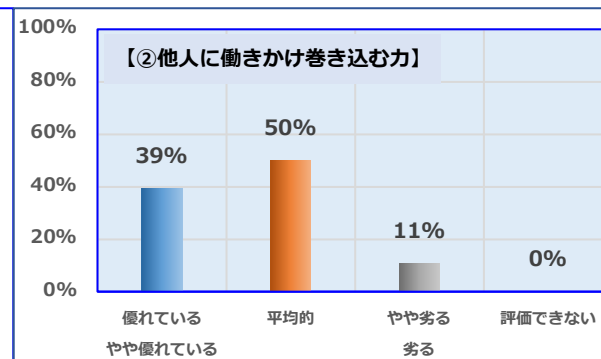
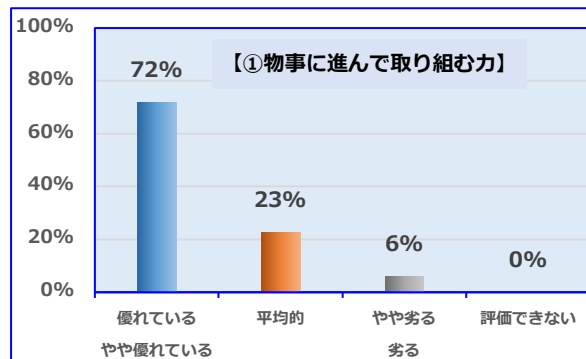
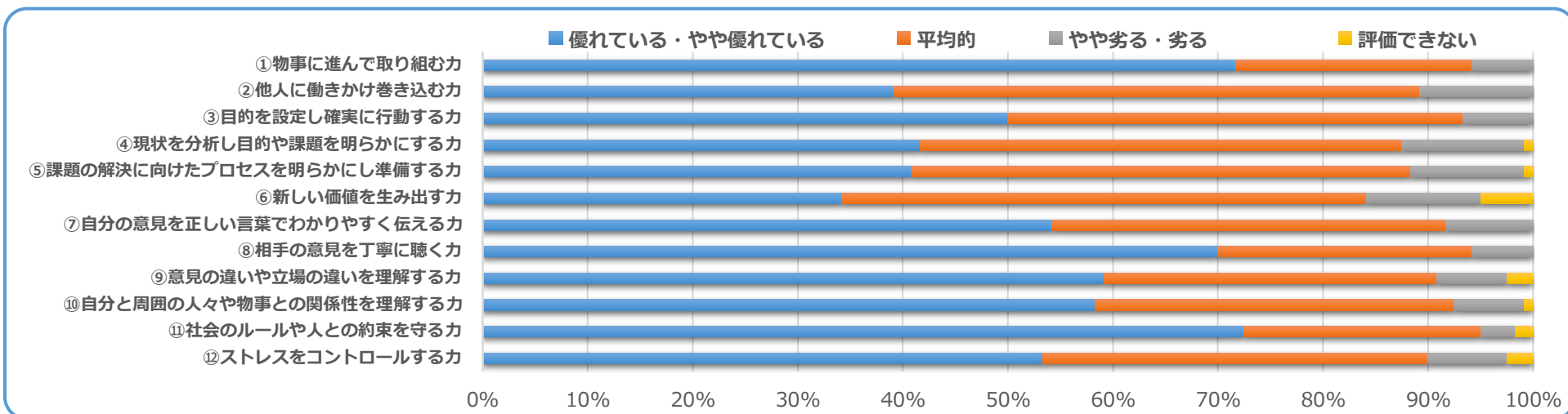
愛知文教大学 キャリアセンター

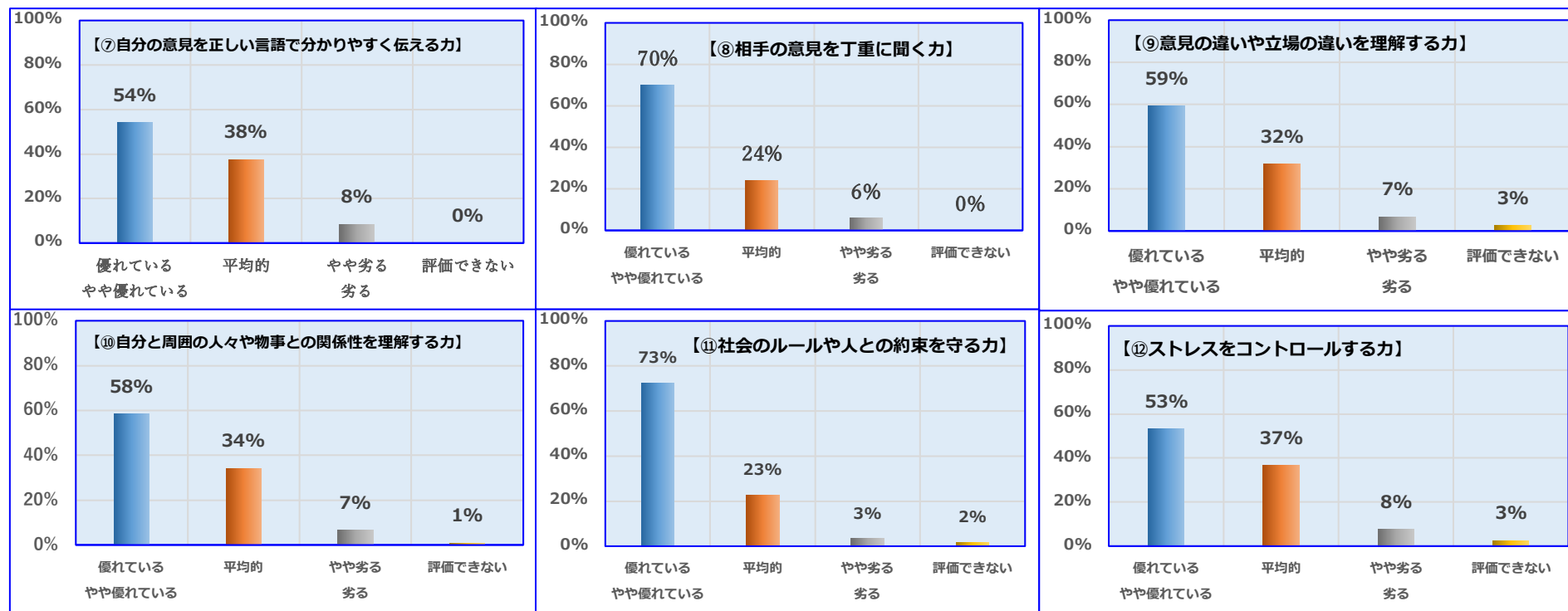
【調査の概要】

1. 目 的 本学の教育課程において、基礎的な学力（教養・知識）を身につけ、その学力を基に判断力・思考力・表現力等を養い、社会の変化に対応しながら、主体的に行動し社会で活躍できる人材育成が不可欠である。
本調査の実施により、大学に対する企業からの評価（社会的評価）や本学へのニーズ等を測り検証し、今後の教育研究活動や就職支援の改善に資することが目的である。
2. 調査対象 学生が就職した主な企業（2019年度から2022年度に調査した企業）合計 140社（157名）対象
3. 調査時期 毎年7月20日発送 8月31日締切
4. 調査方法 郵便で配布し、郵便・FAXで回収（アンケート用紙と返信用封筒を同封。未提出企業には電話にて依頼。）
5. 回収率 企業 81%（113社/140社） 就職者 76%（120名/157名）
6. 質問項目 (1) 社会人としての基礎的な能力「12項目」
(2) 知識・教養・技能「7項目」
(3) 外国語運用能力「3項目」
(4) 採用にあたって、どのような点を重視されますか「5項目」
(5) 学生生活を通じた人間形成について、本学はどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか
(5項目の中から3つ選択)
(6) その他、ご意見、ご要望などの自由な意見
7. 就職先企業訪問による主なヒアリング結果 毎年9月から10月訪問（過去4年間）

1.調査結果の要約 ‹‹2019 年度～2022 年度 4 年間の集計››

(1) 社会人としての基礎的な能力





社会人としての基礎的な能力は、地域社会や職場のなかで多様な人々と共に仕事を行っていく上で、自らの能力を最大限発揮し普遍的に求められる社会人としての基礎スキルが社会人基礎力であり、その基礎力は、

a.前に踏み出す力（アクション）「上記調査グラフ項目①②③」は、主体性・働きかける力・実行力で構成され、組織のなかで仲間と協力しながら粘り強く仕事に取り組む力を示している。

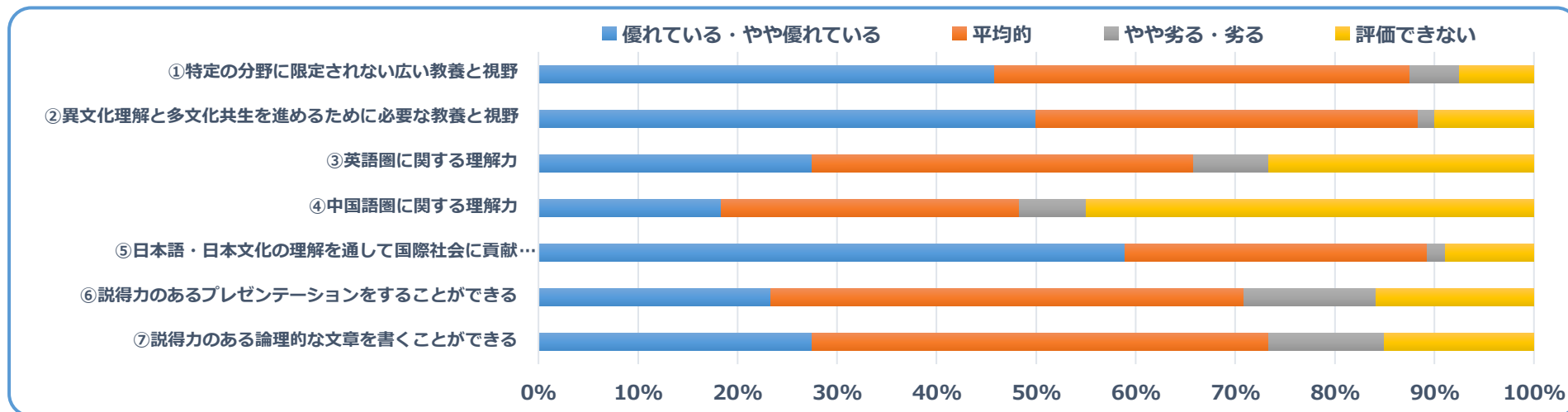
b.考え抜く力（シンキング）「上記調査グラフ項目④⑤⑥」は、課題・問題発見力、計画力、創造力の要素で構成され、何ごとにも疑問を持ち考え抜く力であり、改善するための課題解決策を見つけるためのプロセスを明確にして、実践できる力を示している。

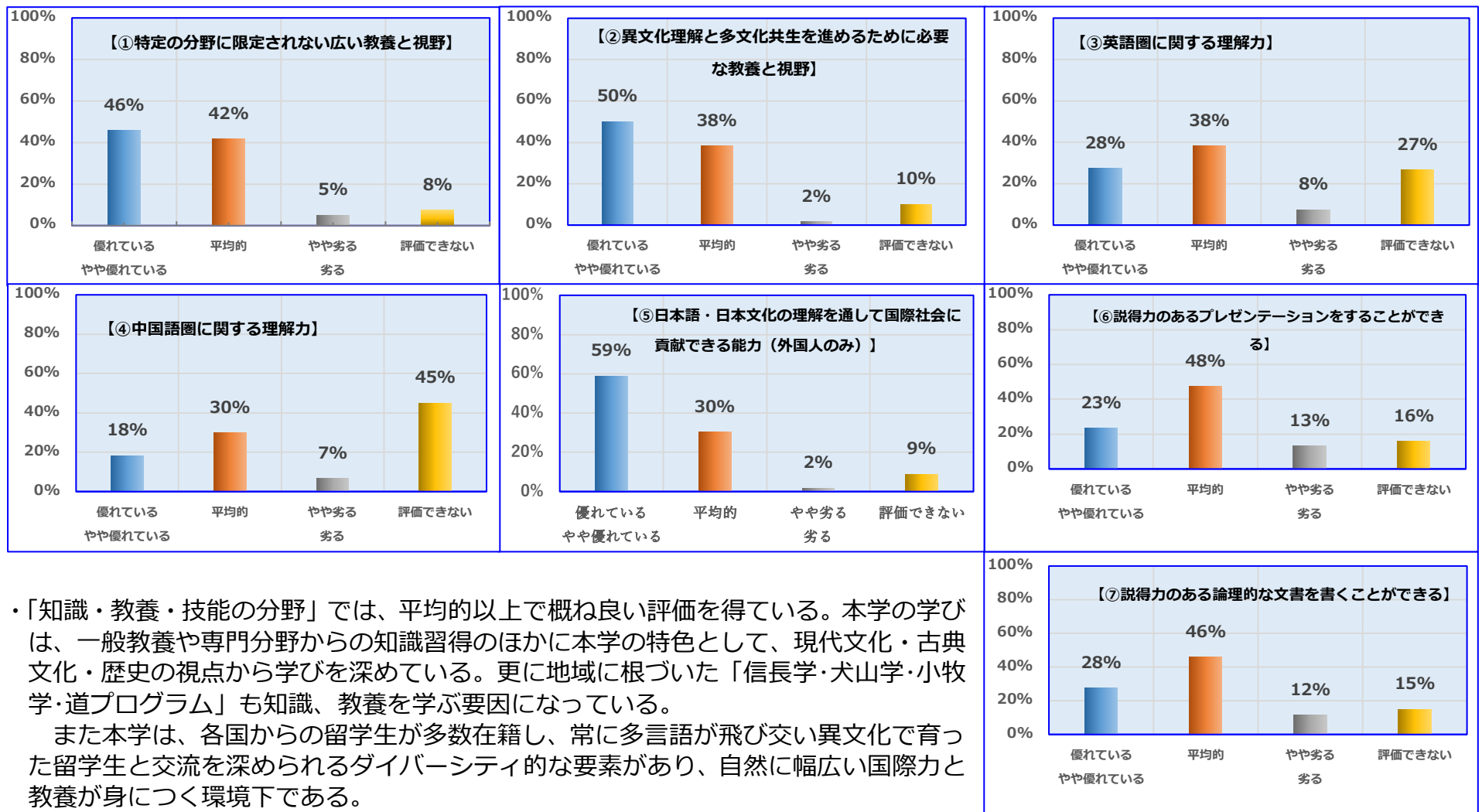
c.チームで働く力（チームワーク）「上記調査グラフの項目⑦⑧⑨⑩⑪⑫」は、発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレス抑制力で構成され、組織内グループや多様な人々と目標に向けて協働・協力する力。

- ・「前に踏み出す力（アクション）」の項目の中で、優れていると評価を得た項目は、「物事に進んで取り組む力」であり、回答頂いた72%の企業から良い評価を得ている。本学学生は、指示を待つのではなく、自ら積極的に行動する姿勢を表している。他の項目についても平均的以上の評価を得ている。ただ項目②の「他人に働きかけ巻き込む力」の評価では、「やや劣る・劣る」が、11%と肯定的でない回答の割合が若干高くなっている。このことを考察すると学生時代の人間関係は、仲の良い友人と接し、他者を巻き込むことが希薄になっているが、社会人になると考え方や立場等の違う人と接することが多く、対人関係に慣れていないことに起因し、今後の社会人経験を重ねるに従い改善できるものと思われる。
- ・「考え抜く力（シンキング）」の項目は、全ての項目で平均的以上の評価を得ているが、各項目の評価で、やや劣る・劣るが11%前後あり若干高く気になるが、学生生活を送るなかで「常識にとらわれず、どうしてこうなるのか」を日々意識しながら生活する習慣を持つことで改善が図られる。
- ・「チームで働く力（チームワーク）」の項目に於いては、本学学生の評価は、総合的には良い評価を得ている。特に項目⑧の「相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）」が、70%、項目⑪の「社会のルールや人との約束を守る力（規律性）」が73%と企業から良い評価を頂いている。この二つの項目は、相手の意見を丁寧に聴き、相手が話しやすい環境をつくる能力や社会のルールや人との約束を守る力であり、総じていえば、自分の意見を的確に伝え、意見や立場の異なるメンバーも尊重し、多様な社員と共に目標に向けて協力するコミュニケーション能力を示している。

以上の3つの基礎力のなかで、企業が特に求める能力は「前に踏み出す力」を重視している傾向が強いので、今後の大学教育においては、主体性、実行力、課題発見力を向上させ将来のビジョン・目標などを立てられる能力を養う教育が更に望まれる。

（2）知識・教養・技能



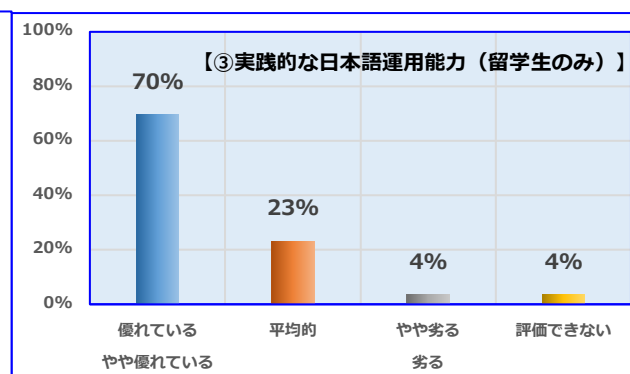
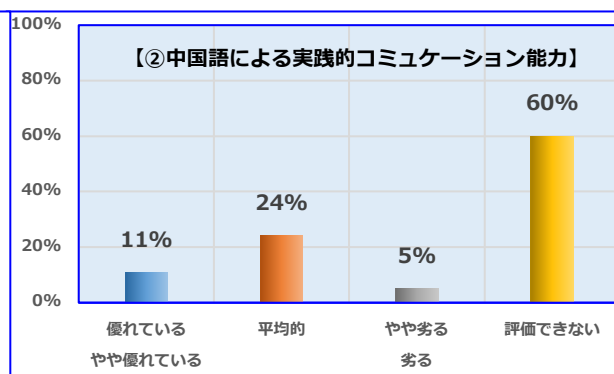
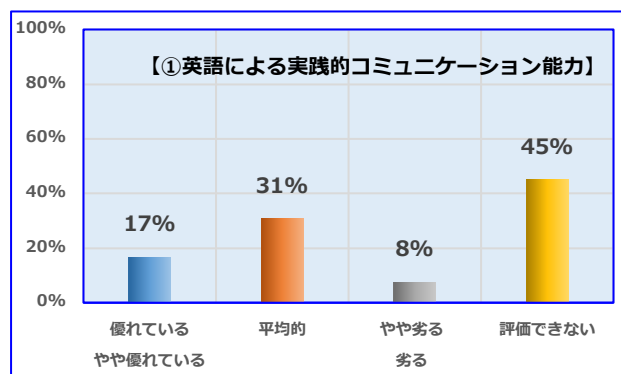
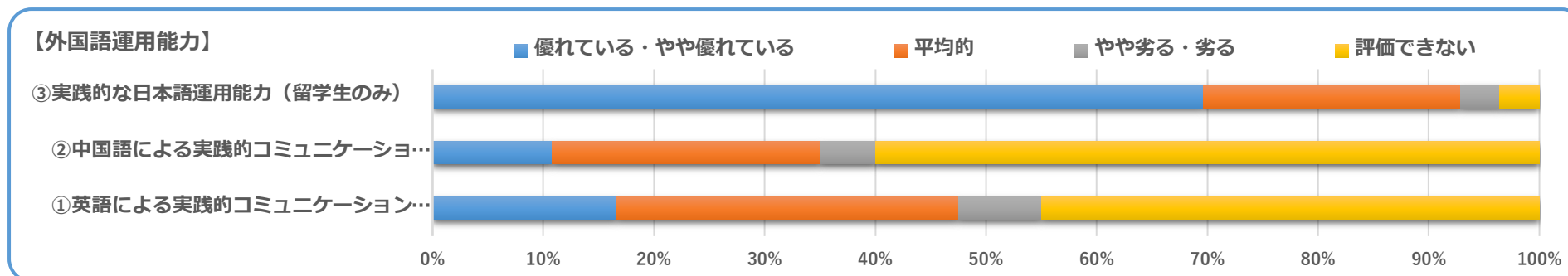


・「知識・教養・技能の分野」では、平均的以上で概ね良い評価を得ている。本学の学びは、一般教養や専門分野からの知識習得のほかに本学の特色として、現代文化・古典文化・歴史の視点から学びを深めている。更に地域に根づいた「信長学・犬山学・小牧学・道プログラム」も知識、教養を学ぶ要因になっている。

また本学は、各国からの留学生が多数在籍し、常に多言語が飛び交い異文化で育った留学生と交流を深められるダイバーシティ的な要素があり、自然に幅広い国際力と教養が身につく環境下である。

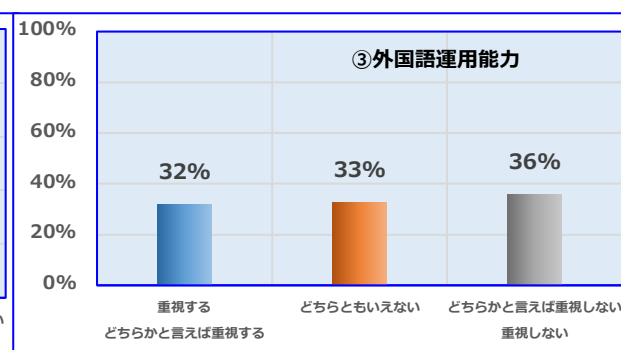
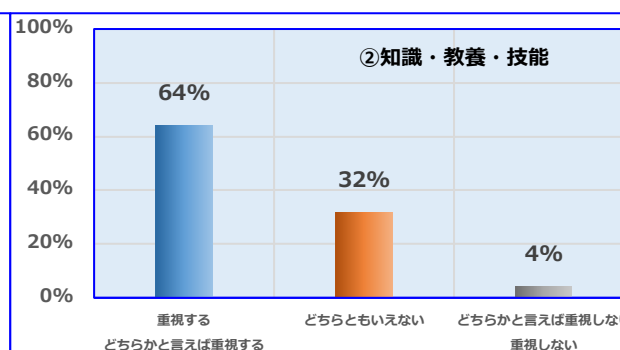
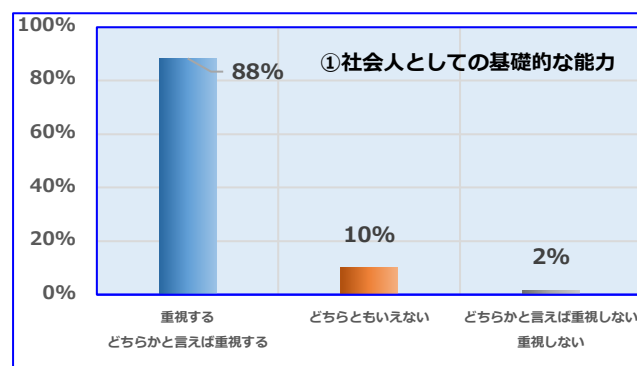
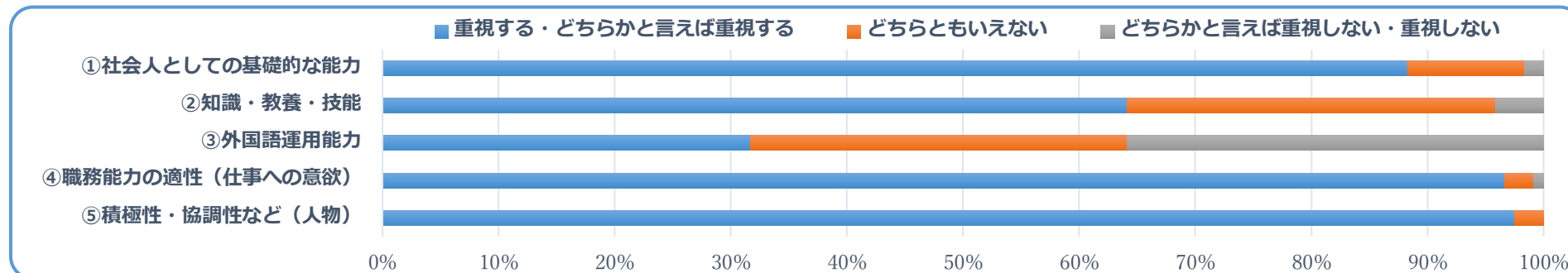
- ・本学の留学生対象の項目⑤「日本語・日本文化の理解を通して、国際社会に貢献できる能力」については、平均的以上と評価した企業は約 90%以上あり良い評価を得ている。このことも上記で記述したことに起因していると思われる。
- ・項目⑥「説得力のあるプレゼンテーションをすることができる」の評価で「やや劣る・劣る」が 13%、項目⑦「説得力のある論理的な文書を書くことができる」の評価で「やや劣る・劣る」が 12%と回答した企業の割合が若干高くなっているが、本学で意識的に継続実施している能動的に学修する「グループディスカッション、グループワーク、ディベート体験等」のアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を今後更に充実することで改善に繋がる。

(3) 外国語運用能力

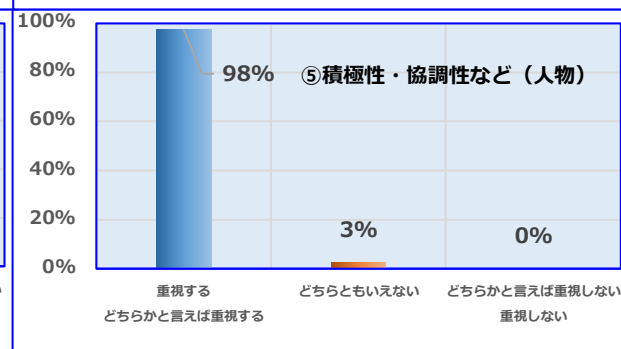
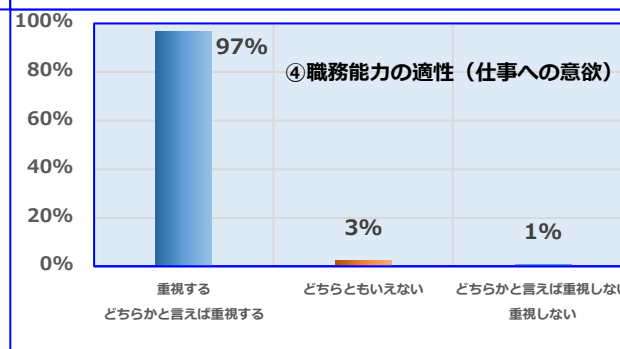


- ・留学生への質問で、項目③の「実践的な日本語運用能力」については「優れている、やや優れている」と回答した企業の割合が70%と高い評価を得ている。この要因として、留学生と日本人学生との多文化共生の環境下で、日本語能力が必然と身につく表れである。また、アルバイト経験も日本語能力を高める要因になっている。
- ・項目①の「英語による実践的なコミュニケーション」、項目②の「中国語による実践的なコミュニケーション」の設問で評価できないと回答した企業が多くなっている。このことは、企業内の日常業務で中国語、英語を活用する機会が少いため評価できないと回答した割合が高くなったと思われる。

(4) 採用にあたって、どのような点を重視されますか。



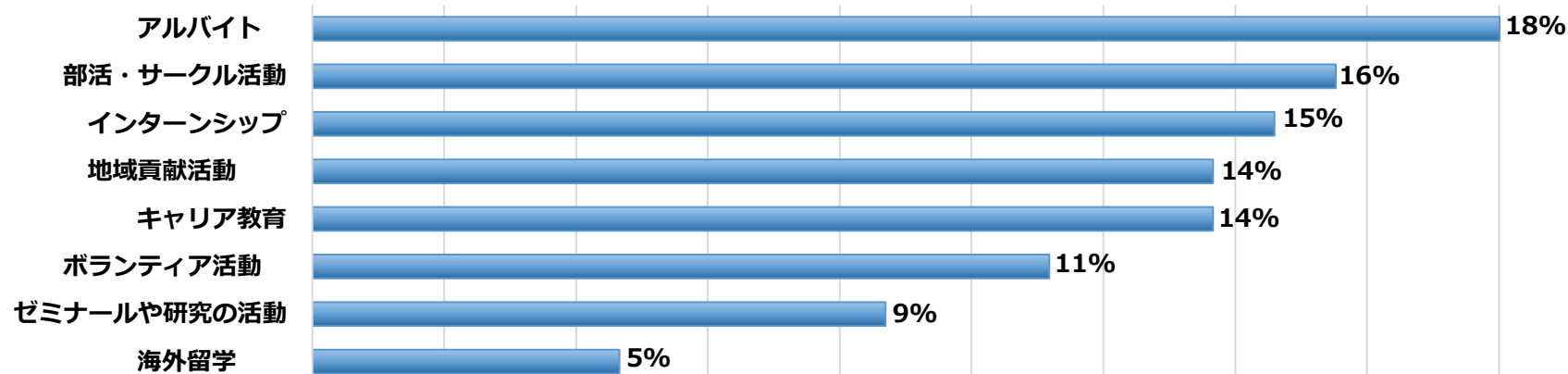
- 採用にあたって、企業が重視する点として「①社会人としての基礎的な能力 88%」「④職務能力の適性（仕事への意欲） 97%」「⑤積極性・協調性（人物）」の3要素に力点を置いていることが分かる。



- 外国語運用能力の項目は、「重視する、どちらかと言えば重視する」との回答が 32%と低めな評価であるが、日常業務は勿論、グローバル化が急速に進んでいる現状のなかで語学力の基礎を身につけてほしいという表れであると思われる。反面、「どちらかと言えば重視しない、重視しない」が、36%で必ずしも肯定的ではない回答もあるが、コロナ禍も収束傾向となり、今後は、海外取引の需要拡大傾向に反転し、外国語教育は、大学における学修として継続的に学ぶことが求められていると思われる。

(5) 学生生活を通じた人間形成について、どの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか。

《地域貢献・インターンシップ・部活動・アルバイト等の社会生活について9項目を選択肢とし、3つまで選択可とした。》



【上記以外のご意見】

- ・感謝すること、感謝されることをより多く体験して頂きたい。できるだけ多くの職業触れて頂きたいです。
- ・コミュニケーション能力（地域貢献活動、ボランティア活動、部活・サークル活動、アルバイト等で人と関わって培ってほしい。）

- ・回答のうち、上位を占める項目は、アルバイト、部活・サークル活動、インターンシップ が上位を占めている。インターンシップとアルバイトを選択する企業割合が高く、学生時代に企業や仕事に触れ合える貴重な体験と実際に働くことで、社会の機微を知り、対人交渉能力や責任感、社会性等を養いで社会経験を積んでほしいとの表れと思われる。部活・サークル活動は、組織のなかで上下関係を学びながら一つの目的・目標に向かって、他者と協働し物事を進める力を身につけられると企業は判断している。
- ・本学としては、地域社会とりわけ地元貢献する大学として「地学地就」すなわち、地元の大学で学び、地元自治体や企業への就職を通じて地域の活性化に寄与する人材の育成を目指していくことが大切であり、そのために地元企業のインターンシップへの参加や地元企業人、公的機関の人事担当者を招いたキャリア講座の開催、更には自治体等が行う地域貢献活動やボランティア活動へ積極的に参加することが必要であると思われる。

(6) 大学への意見、要望や採用した学生に対する主なコメント (2019 年度～2022 年度)

«採用についてのコメント»

- ・採用の観点として、「何事にも興味を持って」取り組むことができるかどうかにも重要視している。
- ・出来る、出来ないは別として、まずは取り組む習慣を身につけていただきたいと思います。人物重視で選考をしており、積極的に散り組める方を求めています。
- ・教育を目指す学生に学校現場を体感する機会をできるだけ多く設定して下さい。そこに積極的に参加を希望する姿勢を持つ方を現場は待っています。

«本学学生についてコメント»

- ・大変熱心に業務に取り組み、慣れなく、又、覚えることが多い中、とても頑張っています。見た目とは裏腹に物事に動じない強い一面もあり、今後が楽しみです。是非、貴学キャリアセンター担当者様のご訪問をお待ち致しております。
- ・非常に頑張っています。コミュニケーション能力が高く活動的で対生徒対応も問題ありません。自己コントロールが課題で、周りが止めないと、とことん走ってしまう傾向がありますが、今後の成長を楽しみにしています。
- ・大変頑張ってくれています。日誌に毎日の振り返り、気付きを報告してくれます。とても細かいお客様のこと、同僚のことも記入されており、感謝の気持ちが強い人材です。社会力を備えた人材を育成する貴学のおかげです。とても良い方に入社頂き感謝いたします。
- ・積極的に同期に声を掛けたり、店舗では、従業員の方々とコミュニケーションを取りながら働いて頂いています。キッチンでの作業能力も高いと聞いております。ご入社頂けたこと嬉しく思います。また、ご縁がありましたらその際は宜しくお願い致します。
- ・とても真面目で一生懸命毎日働いており、とても優秀です。名古屋採用は、今後も力を入れて参りますので宜しくお願い致します。
- ・まだ、就職して4カ月であり、慣れない面もありますが、今後の成長が期待できる人材だと感じています。
- ・新入社員のフォロー研修にて進捗状況を確認しましたが、大変前向きに業務へ取り組み入社3か月ながらも獲得に勤しんでくれています。
- ・大変優秀な方です。人柄も素晴らしく、即戦力として活躍頂いています。ありがとうございます。
- ・採用した学生は、好成績を残されとても優秀な方です。今後ともよろしくお願いします。
- ・仕事に対する姿勢が積極的で助かっています。今後共宜しくお願い致します。
- ・入社して頂いた方は、自らのキャリアプランを考え、そのために目標をたてて実践できる方だと思います。
- ・一部門のリーダーとして教育中。意見・指示がはっきり言え、今後期待する人物である。
- ・とても明るく先輩からもかわいがられています。仕事も責任を持って行っている。
- ・社内は勿論、社外や客先でのコミュニケーション能力も高い。
- ・解らないこと、困ったことは質問し、学ぶ意欲も高いと感じています。覚えるのも早いです。一言で言うと「素晴らしい人材」
- ・数字では評価できない良さがあり、採用させていただきました。

2.就職先企業訪問による主なヒヤリング結果（過去4年間）

毎年行っている就職先企業アンケート調査を補完するため、学生が就職した企業を訪問し、本学卒業生の勤務状況・採用満足度や採用にあたって学生に求めることなどを企業の採用担当者にヒアリングを行い、企業が求める人物像の深掘りを行った。

《2020年3月卒業生対象》

- ・真直ぐな人柄で「日常の挨拶、感謝、お礼の言葉、約束を順守する」などの基礎的能力を持ち自己成長するという考えを持っている人材。
- ・パワーポイント、パソコン操作、ZOOM利用等のICTリテラシーを操作できるスキルを持つ人材。
- ・人柄・人間性がメイン。「元気に挨拶ができる」「場の雰囲気を読み取れる」等、総合的にはコミュニケーション能力がある人材に尽きる。
- ・将来のビジョン・目標などを立てる能力や自主的、能動的な姿勢で取り組む能力を身につけることが出来る教育に期待したい。
- ・人を信じられる人であること。人と一緒に動けること。愛される人であること。この3点は重視して採用している。
- ・画一的でなく個性がある人を求めている。加えて、主体性を発揮して自分が何をすべきなのかを考えながら行動できる学生が欲しい。
- ・コミュニケーション力と目標設定して動けるかを重視している。飲食店だから体力でその場をしのぐ仕事をする人は求めておらず、入社後のビジョンをしっかりと持って、それに向かって仕事ができる人を求める。

《2021年3月卒業生対象》

- ・社員に求めることは、言われたことだけではなく、自分から能動的に動ける人材を求める。「先を見て過去を振り返りながら仕事に傾注できる」ことが大切と考える。
- ・仕事を選択するなかで、大学の専攻分野に合う業種選択は必要であるが、就活に際して、業種を絞らず幅広く色々な業種に興味を持ってチャレンジして頂きたい。
- ・自分を知っていると思っていても意外と知らない部分があるので、自己分析ができる人材が大切である。また、分からないことを分からないと言えると言えどハッキリ言える人材になって欲しい。
- ・主体性をマストとしている。また、通信業界としては、情報収集力がもっとも重要であり、インターネットからの情報は勿論であるが、現地現物ができる人材を求めている。
- ・留学生に求めることは、漢字の読み書きができること。基本的な業務は接客であるので、コミュニケーションをスムーズに取ることができることが必要。日本語の助詞や接続詞を間違える留学生が多い。このことは、接客業に於いては、言葉のニュアンスの違いでミスコミュニケーションが起こってしまうため。
- ・留学生を採用にあたっては、積極性があり、社会に通じる日本語能力（N2以上）やエクセル・ワードができ更には漢字の読み書きができる人材を望む。

《2022 年 3 月卒業生対象》

- ・自己肯定感を持ち自信をもって仕事に邁進する学生を望む。社会性のある学生は、即戦力として活躍できるので、大学の教育に於いては社会人基礎力を発揮できる学生を育ててほしい。
- ・仕事に於いて分からないままにせず、自分から積極的に聞く姿勢が大切。自ら行動できる人材。3年生の夏から就活を起動する学生を最優先に採用するように心掛けている。
- ・留学生は、母国と日本の文化が違うため、自己都合で物事を決めることが多い。「時間にルーズ」、「連絡しても返事がない」など日本のルール、マナーを大学時代にしっかりと学ぶことが必要。また、就活に際して「学校、留学生、企業」との関係性を教えることも重要と思う。日本人学生に求めることは、どんな仕事も受け入れることや「やってみます」等のチャレンジ精神が必要。
- ・周りがしっかり見えているかどうかを見ている。他者への気遣いができる学生を優先的に採用している。
- ・コロナ禍で表情が見えない時代の中で生きてきたため、コミュニケーションが取れない学生が多い。そのため、留学生・日本人学生共に求めることは、チームワーク（協働性）能力の高い人材を選考している。
- ・学校教育から一歩踏み出した経験を重視している。例えば、アルバイト、部活、ボランティア等での活動を多く経験している人材をマストとしている。
- ・面接では、ガクチカ、志望動機を必ず尋ねる。その際、物事を体系的に整理して筋道を立て、回答する学生を採用候補者とし選考している（ロジカルシンキング）。また、忍耐力があり逆境に耐えられる人材を望む。
- ・会社説明会終了後、先輩社員との交流会を開催している。その際、社内に溶け込みやすい人材か、周りに気配りや思いやりがあるかどうかを見極めるようにしている。

《2023 年 3 月卒業生対象》

- ・店舗スタッフであるので、お客様に明るく対応できる方やチームで仕事をするため、お客様から受けたクレーム等や自身の悩み事を素直に相談することが大切。ネガティブをポジティブにかえられる方がマスト。
- ・チャレンジ精神をもって何事にも一歩踏み出すことができる人材を求めている。自身の殻に閉じこむことなく、部下が自発的な活動をすることで、上司を動かすことができ、社内の活性化に繋がってくる。
- ・会話が普通にできること。会話が苦手な学生であっても基本的にやる気がある学生であれば採用し社内で育てる。報連相ができる学生を望む。
- ・人と向き合う仕事であるため基本であるコミュニケーションが取れる学生を求める。また、自身の思いを伝えられる人材であること。また、与えられた業務外のことにも興味を持ち取り組むことができることが大切。指摘されても素直に受け止められる人材。キーワードとして「素直、元気、笑顔」で何事にも取り組める人材を求めている。
- ・物を売る仕事ではなく様々なセクションの方と会話するためコミュニケーション力がある学生を求めている。また、色々なことに興味が持てるかどうか。また、周りがしっかり見えているかどうかを見ている。他者への気遣いができる学生を優先的に採用している。

- ・自身の思いを素直に伝えられる人材、また、基本的なことは明るく元気で健康的である学生を求めている。日本人の新卒採用はここ数年できていないので中途採用をメインに採用活動を行っていること。
- ・留学生については、日本の文化に順応し、マナーを守れる学生がマスト。日本人学生の採用基準は、様々なことに興味が持てるかどうかを見ている。また、周りがしっかり見えているか、人に気遣いができる学生を優先的に採用している。素で面接できることが大切。
- ・素直さがある学生。学業以外の経験（部活、アルバイト、ボランティア）が多くある学生が良い。また大学として、社会人基礎力に沿った学修も取り入れてほしい。
- ・経験の中で成功、失敗体験をどう解決しなのを得たかが大切。また何事にも継続して行動できる学生を望む。